

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成		課(室)名	環境施設対策課
	施策	廃棄物の適正処理		電話番号	087-885-2810
	基本事業	ごみの適正処理の推進		事業実施主体	市
	事務事業	西部クリーンセンター大規模改修事業		事業期間	平成 28年度～平成 30年度

【事業全体概要】

事業の概要	一般廃棄物中間処理施設である西部クリーンセンターは、供用開始してから長期間が経過しており、平成 25 年度に長寿命化計画を策定し、この計画に基づいて、ごみ焼却施設及び破碎処理施設の基幹的設備の大規模改修工事を行う。施設周辺の地域振興事業として、集会場、道路等のインフラ整備を行う。
-------	--

29年度概要	西部クリーンセンター（ごみ焼却施設・破碎処理施設）の基幹的設備改良工事を行う。周辺地域振興事業を行う。
--------	---

重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	6-	事務事業の類型	インフラ・施設等整備
--------	------	----------	----	---------	------------

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民 西部クリーンセンター（中間処理施設）
意図（どのような状態にしたいか）	西部クリーンセンターの大規模改修を実施し、施設の延命化を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
整備事業の進捗率（事業費ベース）単年度	%			51.2	100	100

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
成果指標	西部クリーンセンター大規模改修整備進捗率	%	目標値			16.6	90.3	100
			実績値			16.6		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） ごみ焼却施設（2 炉）、破碎処理施設の基幹的設備改良工事により、周辺環境に配慮した施設の性能維持や延命化が図られる。 (目標達成度)							(達成度) 100.0% 35点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度（決算）	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（予算）
トータルコスト	[円]	65,741	219,757	977,644	4,116,205
（事業費）	[円]	58,360	204,403	961,942	4,100,503
（職員人件費）	[円]	7,381	15,354	15,702	15,702

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

焼却施設については、27年度事業の一部を28年度に繰越したが、工事工程を調整し、29年度末の完了を目指す。破碎施設については、29・30年度の2カ年工事とし30年度末の完了を目指す。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

大規模改修工事の工程管理や安全管理に努め、予定どおりの事業完了を目指す。
